

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を全ての方にも知って頂ける為、来苑時等、玄関内に提示し、職員は朝夕の申し送りで、毎日モットーを唱和し、常に意識して理念に沿ったケアに努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のサロン参加、自治会大掃除、地元中高生の実習や職場体験の受け入れを積極的に行い、グループホームの存在を理解して頂けるよう、支援交流しています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	以前に比べ、「認知症」という言葉をマスコミ等で身近に耳にするようになり、実習生、ご家族、ボランティアの方が活動に参加し、認知症の方々の接し方を実感して頂き、認知症の方への理解を深めてもらえるよう努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一回開催し、入居者様の状況や運営活動、実績を報告し、意見や助言をスタッフ会議で伝え、サービス向上に活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会への参加、苑内行事、ボランティア依頼、福祉事務に関する指導、事務手続き等、主に管理者からスタッフへと連携し、協力関係が築けるよう取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体的拘束等適正化委員会を設置し、事例検討を行い、身体的、精神的被害について理解し、拘束になっていないか、話し合いケアに取り組んでいる。運営推進委員会でも、意見をお聞きしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待も同様に、委員会を設置し、日頃のケアで気になっていることを話し合い、スタッフが常に意識し虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度として見聞きし、学ぶ機会があり、入居者様が、必要希望される時は、関係者と協力支援できるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約お願い事等を丁寧に説明し、理解された上で、契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	近況報告を兼ねて、苑便りを郵送している。また、面会時直接お話をお聞きしたり、苦情・相談の欄を設け対応している。家族会も開催し、要望等をお聞きし、信頼関係を築けように努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議や朝夕の申し送りで、職員が気付いたことを話し合い、意見や提案を出しやすい環境づくりに努めていて、検討したことを運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規程範囲内で、スタッフ一人ひとりの生活環境に沿った要望を受け入れ、勤務表を作成し、人員不足でもお互い協力しあえる環境づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフが平等に研修参加できるように、研修計画の実施、資格取得を推進し、受験費用の補助など、職員を育てるスキルアップ支援を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し、研修会への参加、同業者との意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申し込み時、入居時、ご本人と面会。生活状況、身体状況等や、新しい生活への不安などをお聞きし、コミュニケーションを取り、これからの新しい生活が安心して送れるよう関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にも同様に、現在のご本人の状況をお聞きし、ご家族への協力して頂く事、グループホームでの過ごし方など説明し、安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時、ご本人、ご家族からお話をお聞きし、今何が必要で、何を求めているらっしゃるか見極めて、他サービスを含めた総合的支援ができるか検討し対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは、介護される一方の立場だけでなく、その前に人生の先輩として敬う気持ちを忘れず、これから共に生活する者同士、良好関係が築けるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居されてからも、ご家族の関係が途切れないよう、面会時や連絡をとり、ご家族、本人の気持ちを配慮して、気軽に相談し合える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人友人の面会、地域サロンへの参加、ご家族の協力の下、自宅への外出、墓参りなど、見慣れた住み慣れた場所へいつでも行けるよう支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った入居者同士が、いつでも話ができる環境を作り、コミュニケーションが難しい入居者様もスタッフが関わり、社会性が保て支え合う事で、生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、ご家族様が来苑して下さり、近況報告をされ、要望があれば、相談や支援ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、一人一人の思いや、希望を御本人に聞いたり、意思疎通の困難な方は、言動や表情を汲み取り、全ての入居者様が平等で分け隔てなく不安を感じることなく、生きがいを持って暮らせるよう支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご本人ご家族に、これまでの生活歴や、今まで過ごしてこられた環境、サービスを利用するようになった経緯をお聞きし、職員一同共有し、一人一人に沿ったケアに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり、それぞれの生活のリズムを把握し、毎日心身状態は、日々変化していくので、毎日の様子観察は怠らず、個々の違いや感じ、気付き、現状での自己能力を最大限に発揮できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人が、どのように暮らしたか、ご家族がどのように暮らして欲しいかを、ご本人、ご家族、スタッフがそれぞれ意見を出し合い、アセスメント、モニタリングを行い、介護計画作成に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケース記録を作成し、日々の暮らしの様子、身体的状況（食事量・排泄・バイタル）を記入し、日常の変化に気づき、入居者様のちょっとした言動をヒントにケアや介護計画に活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	多機能化まで行っていませんが、ご本人、ご家族が希望される時は、外出支援、通院支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して暮らせる様、地域のスーパーや訪問美容、歯科衛生士、緊急避難時の消防局や地域住民など、地域資源と協働し支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医師の定期往診の他、急な体調不良にも、すぐ対応して下さっている。病院受診するなど、安心して適切な医療が受けられている。また入居前からの専門医受診が必要な入居者様に対して、継続して医療が受けられる様、ご家族の協力を得ながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	一週間に一回、協力医院より、訪問看護があり、日々の生活の様子を報告し指示を仰いでいる。また、緊急時でもすぐに連絡が取れ適切な医療や看護が出来る体制になっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院する際は、スタッフが付き添い、入院するまでの状況を医療機関に報告するなど情報交換を行っている。入院中面会に行き、経過病状を聞き、医療機関とも連携を取りながら、早期退院が出来るよう支援している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ターミナルケアを行っており、入居時、ターミナルについてアンケートを書いて頂いている。その上で、重度化、終末期が近づいている場合、ご家族、主治医、事業所が今後について話し合い、ご家族が望まれる対応をし、ターミナルケア体制の構築に努め、チームで支援している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時に備えマニュアルを作成し、職員は対応、手当、蘇生法等の訓練や研修に参加し、その時慌てない様準備している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練の実施や防災教育、災害時の対応の研修を行っている。年一回の夜間避難訓練は、消防局や地域支援協力者の方々も参加して頂いて、入居者様が安全に避難できる体制を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、自尊心を傷つけない、どんな時でも笑顔で、優しい言葉で、理念に基づいた支援に務めている。また、スタッフ会議でも接遇で、気になった事を話し合い、改善し、よりよいケアができるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせた声掛けや対応を行い、「はい」「いいえ」が答えられる自己決定しやすいよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合った声掛け対応に努め、入浴、食事、トイレ、無理強いせず、その日の体調気分に合わせて一人ひとりのペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的にビューティーヘルパーさんが来苑され、髪をカットして頂いています。外出時や行事等には、いつもと違う洋服を着たりして、おしゃれを楽しめる様支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりの好みの物を、日常の会話の中からお聞きし、また、ご家族からも情報を得、誕生会の時、好みの物を出したり、日常の食事も、旬の物を取り入れたりし、味、目でも楽しめる様工夫しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量や好み、食事形態、病歴など考えて、とろみをつけたり、ミキサー食、キザミ食にするなど、工夫しながら、十分な栄養が摂取できる様支援している。栄養状態が悪い方には、高カロリーゼリーなど使用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、介助、見守り、声掛け、一人ひとりに合った口腔ケアをしている。入れ歯の方は、定期的に洗浄剤を使用。口腔ケアが習慣となる様努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、座位が保てる方、トイレ誘導、声掛け、難しい方に対しては、二人介助にてトイレで排泄ができる様支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫、乳製品、食物繊維を多く含む食品、水分チェック、適度な運動の声掛け（レク参加など）便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間帯の変更は難しいのですが、入浴拒否がある場合無理に入浴させず、曜日の変更、言葉かけの工夫、時間を置くなどし、楽しく、ゆっくり入浴して頂ける様支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれのプライベート空間があり、いつでも好きな場所に自由に過ごして頂ける様支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬一覧表を作成。職員がいつでも確認でき、変更時には、口頭、連絡帳に記載。服薬の重要性をスタッフ一人ひとり把握している。再々チェックをし服薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの能力を生かせる様、歌の好きな人、体を動かす事、塗り絵、脳トレ、散歩、本人の希望を聞きながら、毎月の行事計画を立てている。また、ご家族の協力を頂きながら、外出、外泊をお願いし、気分転換等の支援をしている。		
		○日常的な外出支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、苑庭の散歩、行事で花見、ソーメン流し、遠足、季節に合った戸外に出かけ、ご家族やボランティアの協力の下、入居差様に楽しんで頂いている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在自己管理されている方はいらっしゃいませんが、外出、外泊時、スーパーなどに行かれ、買い物をご家族と一緒に楽しまれています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望により、自由に電話されたり、手紙のやり取りが出来るよう支援しています。携帯も、二名様持っておられ、ご家族と話をされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物は、木のぬくもりが感じられ、窓も大きく、中庭もあり、明るく周りの畑が見えるなど開放感がある。季節感のある飾りつけや植物を置くなどして、空調、温度調整などにも注意し、居心地よく過ごせる様工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間（リビング）で、ほとんどの入居者様が一日長く過ごせる場所として、座席の工夫、思い思いの場所で過ごして頂ける様に工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、使い慣れた家具や寝具、家族の写真、位牌など持ち込まれ、ご本人が居心地よく安全に過ごせる様工夫している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	一人ひとりの分かる力を見極め、必要に応じて目印をつけたり、転倒防止できるように物の配置に気配りして安全に自立して生活が送れる様に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない